

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

## FOLFIRI + Ramucirumab療法

2 週毎 コース予定

疾患名 大腸癌

主治医 指導医 HBs抗原( ), HBs抗体( ), HBc抗体( ), HCV抗体( )  
スケジュール

			day1	day2
サイラムザ(ラムシルマブ)	8 mg/kg		↓	
イリノテカン	150 mg/m <sup>2</sup>		↓	
レボホリナート	200 mg/m <sup>2</sup>		↓	
フルオロウラシル	400 mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	↓	
フルオロウラシル	2400 mg/m <sup>2</sup>	46時間持続点滴	→	→

【注意】 \* ラムシルマブはインラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を用いて投与すること

\* ラムシルマブの点滴時間は初回投与時60分かけて点滴静注、2回目以降は忍容性が良好であれば、30分投与でもよい。

\* 定期的に蛋白尿の検査を実施すること。

\* 必要時 化学療法開始前日から半夏瀉心湯7.5 g 3×毎食前 内服開始  
または 重曹1.8 g 3×毎食後 内服 4日間

\* イリノテカン使用前に腹痛・下痢がないことを確認する。

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

day 1

- |                            |              |
|----------------------------|--------------|
| ① 生食 500 mLにて血管確保          | 維持(20 mL/時間) |
| ② レスタミン(10 mg) 5錠          | 内服           |
| グラニセトロン注 3 mg              | 側管静注         |
| デキサメタゾン注 9.9 mg + 生食 20 mL | 側管静注         |

FOLFIRI + Ramucirumab療法

- ③ サイラムザ + 生食 250 mL 点滴静注 (60~30 分)
- ④ イリノテカン + 5%ブドウ糖250 mL } 同時滴下  
レボホリナート + 5%ブドウ糖250 mL } 2時間で点滴注射
- ⑤ フルオロウラシル + 生食 50 mL 点滴静注5分(600 mL/時間)
- ⑥ フルオロウラシル + 生食 適量(全量 140 mL)

インフューザーポンプ ( 3.7 mL/時間) にて46時間で持続点滴

インフューザーポンプに2日分(46時間分)を一度につめます

day 2, 3 必要時 デキサメタゾン錠 8 mg 内服

	コース	コース	コース	コース	コース	コース	コース
月 日	/	/	/	/	/	/	/
サイラムザ 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
イリノテカン	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
レボホリナート 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
フルオロウラシル (全開点滴) 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
フルオロウラシル (持続点滴) 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認							